

平成27年度

笠岡市施策評価報告書

平成27年9月

笠岡市施策評価委員会

笠岡市の施策評価の実施にあたって、施策評価委員会による評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめましたので、報告します。

笠岡市長 三 島 紀 元 殿

平成27年9月28日

笠岡市施策評価委員会  
委員長 小 林 正 和

## 1 笠岡市の行政評価について

笠岡市では、行政運営の資源（人・物・資本）を有効に活用していくため、行政が進める政策を実現するための施策について、指標等を用いて評価し、その結果を改善に結び付けていく行政評価（施策評価）を実施しています。

この評価サイクルを確立し、継続的に評価検証を進めていくことで、行政活動の透明性が高まり、結果を公表することで説明責任が果たされ、市民の満足度がより高まり、行政運営の質的な向上が期待されます。

## 2 施策評価について

平成 19 年度から施策評価を導入し、総合計画とも連携した新たな仕組みづくりが進められました。

こうした中で、施策評価による施策の重点化、施策体系の見直し等を踏まえ、平成 22 年度を初年度とする第 6 次笠岡市総合計画が策定されました。

平成 23 年度からは、目指すべき都市像の実現に向け、総合計画の進捗状況をチェックするとともに、各施策の方針や今後の展開を明確にしていくため、施策評価委員会を設置し、施策評価を実施しています。

## 3 施策評価委員会の設置について

### (1) 目的

施策の実施担当部局が行った自己評価に基づき、有識者及び市民の代表者と行政組織の職員により、総合計画の進行状況を市民の目線で評価していただくことで、施策評価の妥当性・透明性を確保し、信頼性を高めることが目的とされています。

### (2) 委員構成

施策評価に対する共通認識を深めるため、外部委員と内部委員の混合で構成します。（合計 6 名）

外部委員：総合計画審議会の会長，副会長，その他の委員 2 名（計 4 名）

内部委員：政策部長，総務部長（計 2 名）

委員名簿は別紙のとおり

## 4 評価対象施策について

施策評価は、第 6 次笠岡市総合計画に計上された施策のうち、基本計画を

構成する 39 施策について、評価対象とされています。

- ずっと住み続けたいまち： 1 施策
- 快適で安全なまちづくり： 14 施策
- 心豊かな人づくり： 6 施策
- 安心して暮らせるまちづくり： 9 施策
- 活気あるまちづくり： 7 施策
- 人と人がつながるまちづくり： 2 施策

## 5 評価の方法等について

### (1) 評価の方法

#### ① 評価の方法

平成 26 年度における取組について、施策実施担当部局が作成した施策評価シート及び関係資料に基づく書面評価と、委員会でのヒアリングを実施しました。

#### ② 評価の観点

施策評価の仕組みをより信頼性の高いものとするため、

- ・指標の達成状況から見た現状分析が妥当であるか
- ・施策を構成する事業の進行状況の現状認識が妥当であるか
- ・これらを踏まえた改善策が適切に方向付けされているか
- ・総合評価としての認識が妥当であるか

といった視点で評価を行いました。

#### ③ 委員会の開催結果

日 時	内 容
8 月 17 日 (月)	施策評価委員会 (1 日目) 評価方法及び進め方等の確認 施策評価シートヒアリング及び評価
8 月 21 日 (金)	施策評価委員会 (2 日目) 施策評価シートヒアリング及び評価 これまでの委員会を踏まえての協議・まとめ

## (2) 評価の結果

### ① 総評

委員会としては、

A：計画どおり進行している。

B：おおむね計画どおり進行している。

C：計画より一部遅れている。

D：計画より遅れている。

の4段階で評価を行いました。

ヒアリングした施策は16施策中、A評価が0、B評価が14、C評価が2、D評価が0であり、ヒアリングをしなかった施策は書面だけで行い、23施策中、A評価が1、B評価が22、C評価が0、D評価が0となりました。この結果、全39施策中、A評価が1、B評価が36、C評価が2、D評価が0となりました。

(評価結果一覧表は別紙のとおり)

今年度のヒアリング施策は、昨年の総合評価がC評価だった施策、今年の自己評価がC評価だった施策、この3年間ヒアリングをしなかった施策、の3つを基準に選びました。また「計画実現に向けた取組」の12項目は除き、全51施策のうち39施策で評価をしました。さらに施策評価委員も入れ替わり、活発な意見が多く出ました。

施策評価シートは、昨年に引き続き非常に見やすいものになっています。またヒアリングでの事業説明もポイントを掴んでの発表で、持ち時間5分以内でほぼ終わり、その後の質問事項に対する回答も的確に説明をしていただいたため、理解をしやすく、予定時間内に終わることができました。かなり良かったと思います。

各施策に対する意見等は、それぞれの評価シートに記載のとおりです。

今回のヒアリング対象施策の多くは、今までヒアリングをしていなかった施策だったため、そんなに問題のないものが多かったように思われます。また、昨年C評価だった施策、今年C評価だった施策は、社会動態の影響で指標がなかなか改善できにくいものが多く、今後どのように改善していくかが課題になると思います。

今回の計画の進捗状況は、A評価が1施策、B評価が36施策、C評価が2施策とB評価に集中する結果となりました。今までもB評価に集中する傾向が強かったのですが、今回も同じような傾向となりました。今後は少しでも上の評

価に改善できるように、事業を実施していただきたいと考えます。

## ②改善を望む項目等

### 【評価シート】

#### 1) シートの作成にあたって

今回使用の施策評価シートは、毎年改善していているため、かなり見やすいものになってきました。さらに、的確に事業内容等が書かれているなど評価はできると考えます。しかし、昨年度と同じ事業を同じように書いて、新しい事業は何なのか分からないことが見受けられました。今後は新しく行った事業は下線を引いて、分かるようにしていただきたいと思います。

### 【評価の方法】

評価にあたっては、

#### 1) 施策の評価が固定

今回は今まで評価をしていなかった施策が多かったのですが、昨年と同じようにB評価が多くなり、固定化していることが挙げられます。

#### 2) 背景の複雑化

社会動態の影響でなかなか改善できにくい施策がありますが、全体的によく事業に取り組んでいることが分かりました。しかし、改善しにくいからと言って手をこまねいているだけでなく、改善に向けて果敢に挑戦をしていただきたいと考えます。

#### 3) 施策の説明

多くの施策では、ポイントを掴んでの発表で5分の持ち時間内で終わることができ、うまく説明ができていたように感じました。しかし、中には別に用意した文章を読んでいたりと、事業の説明が掲載順でなかったものもありましたので、今後は事業の順番で分かりやすく説明をしていただくようお願いいたします。

次回は事務局によりこれらの点の改善を徹底していただき、円滑な評価が実施できることを期待します。

## 施策評価結果

### 定住促進

	ずっと住みたいまち	B	
--	-----------	---	--

### 安全で快適なまちづくり

1111	調和のとれた土地利用に取り組むまち	B	
1121	良好な景観と憩いの空間があるまち	B	
1131	公共交通を利用しやすいまち	B	
1141	便利で安全な道路があるまち	B	
1151	安全に港が利用できるまち	B	
1161	安心の水が潤うまち	B	
1171	下水道によって快適に暮らせるまち	B	
1181	危機に備えみんなを守るまち	B	
1191	消防・防災力でみんなを守るまち	B	
1211	ごみを減らし資源を大切にすまち	B	
1221	笑顔で安心して安全に暮らせるまち	B	
1231	いつでもどこでも情報ネットワークにつながるまち	B	
1311	地球にやさしい環境を守るまち	B	
1321	生きている化石カブトガニを守るまち	A	

### 心豊かな人づくり

2111	充実した学校教育が受けられるまち	B	
2121	歴史を守り文化・芸術を育てるまち	B	
2131	学びが人を育てるまち	B	
2141	いつでもどこでもだれでもスポーツが楽しめるまち	B	
2151	人権を尊重するまち	B	
2152	平和の大切さを伝えるまち	B	

### 安心して暮らせるまちづくり

3111	みんなで支えあう福祉のまち	B	
3121	安心して子どもを産み育てられるまち	B	
3131	市民一人一人が健康づくりに取り組むまち	B	
3141	高齢者が生きがいをもって暮らせるまち	B	
3151	障がい者・児が自立して生活できるまち	B	
3161	生活を支える福祉のまち	B	
3171	安心して医療を受けられるまち	B	
3172	迅速な救急体制で安心のまち	B	
3181	みんなで支え合う安心のまち	B	

### 活気あるまちづくり

4111	地元で働けるまち	B	
4121	特色をいかした農業に取り組むまち	B	
4131	おいしい水産物がとれるまち		C
4141	商工業が盛んなまち		C
4151	笑顔があふれる観光のまち	B	
4211	離島で安心して暮らせるまち	B	
4311	干拓地をいかしたまち	B	

### 人と人がつながるまち

5111	市民とともに協働でまちづくりを進めるまち	B	
5121	多くの人や文化との交流を育むまち	B	

計 1 36 2 0

A：計画どおり進行している  
 B：おおむね計画どおり進行している  
 C：計画より一部遅れている  
 D：計画より遅れている

## 平成27年度 施策評価委員会

役 職	氏 名	団体・役職等	備 考
委員長	小 林 正 和	福山大学 准教授	
副委員長	佐 藤 芳 子	社会教育委員会 委員長	
	野 本 明 成	就実大学 教授	
	長 谷 川 絢 の	笠岡市創生総合戦略懇談会委員	
	岡 本 裕 也	笠岡市政策部長	
	竹 井 賢 二 朗	笠岡市総務部長	